

### 橋梁直営点検の開始にあたって～佐世保市職員への技術指導～

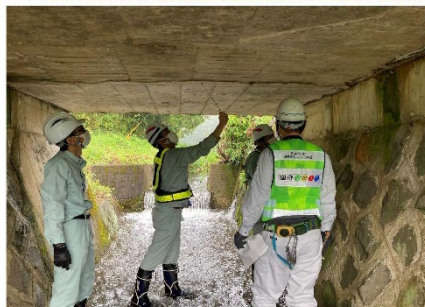
2022年度から佐世保市は1巡目の橋梁定期点検結果で比較的健全度が高く、はしごなどで容易に点検が可能な小規模の橋梁を対象に、市技術職員と同OB職員による直営橋梁定期点検を開始しました。直営点検を実施するにあたって、点検や診断の技術的支援を長崎大学インフラ長寿命化センターに依頼。佐世保市と長崎大学は2022年3月に連携協定と維持管理に関する覚書を締結しました。

この覚書に基づいて、2022年度に佐世保市受託研究「橋梁の効率的な維持管理に関する研究（定期点検）」を開始。目的は「佐世保市が管理する市道の橋梁について、安全・安心かつ効率的な維持管理を行うため、定期点検の手法や損傷要因などについて調査研究を行うことと、市職員の橋梁点検・補修に関する技術習得を図るため、点検手法並びに損傷箇所の補修方法について、専門的な立場から技術的指導を行う。」ことです。

佐世保市直営点検の対象橋梁は380橋で、初年度は38橋を対象とし、市技術職員1人と同OB職員2人で担当する計画です。初年度の今年度は、橋梁直営点検の実施前に橋梁点検に経験豊富な道守認定者による事前研修会を6月21日に開催。佐世保市職員の技術の習得を図るため、専門的な立場から技術指導を行うものであります。

1 研修名	「佐世保市職員向けの橋梁点検の技術指導研修会」
2 日時	令和4年6月21日(火) 9:30～11:30、13:30～16:30
3 場所	佐世保市吉井町草ノ尾 佐世保市柚木町 佐世保市役所
4 対象施設	①草ノ尾1号橋、②草ノ尾2号橋、③由子乃里橋
5 参加者	道守養成ユニットの会5人、佐世保市職員7人

今回は、橋梁点検を進めていくために必要となる基礎的な知識(点検の流れ、着目点、直営点検の心構えや診断のポイント等)について現地での点検の研修を行いました。技術指導の講師募集については「道守養成ユニットの会」佐世保地域部会の三岳様にお願ひし、佐世保地域部会の認定者に担当していただきました。



草ノ尾1号橋の点検

現場での点検時の技術指導の他に、点検終了後に佐世保市と道守養成ユニットの会の点検講師の間で意見交換会を開催。佐世保市はこの研修会でのアドバイスも反映させて、市職員の橋梁点検の実施フロー図を作成して、今年度の点検を実施し、その結果をもとに診断結果をまとめています。市による診断判定結果の検討についての協議は次号で報告します。



技術指導・質疑応答

# アロマカーテン大作戦！ in 長崎駅高架広場

長崎地域部会は、「道守養成ユニットの会」のなかで構成人数が最も多い地域部会です。主な地域部会活動としては、長崎大学周辺の清掃活動や長崎県の三者合同点検への参加になってはいますが、構成人数に応じて様々な活動機会を作った方が良いのではと考えていました。

そんな折、長崎県長崎振興局に『夜中に駅前高架広場に多くのゴキブリがいる』との声が寄せられていることを知り、地域部会活動で実施している道路の点検・美化活動の取り組みの一環として何かできないだろうかということで、長崎振興局に勤務する県職員の道守認定者を中心に有志メンバーを募り、長崎振興局建設部のご協力のもと、『長崎駅前高架広場アロマカーテン作戦』と題して、薬剤などは使わず、ゴキブリ除けに効果があるといわれているハーブの一種「クローブ」を詰めた小袋を高架広場の高欄やベンチに括り付けて、その香りの“アロマカーテン”による実験的な対策を行うことにしました。

実施当日の7月14日は、長崎振興局での材料製作と長崎駅前高架広場での設置作業の2部構成とし、それぞれ10名、12名に参加して頂きました。製作した100袋を現地に取り付けた後、1か月後、3か月後の状況を確認してから10月末に撤去しましたが、屋外暴露の状況でも香りは持続しており、設置期間中はゴキブリに関する苦情も特になかったとのことで、多少はゴキブリ除けの効果が得られたのではないかと考えているところです。

材料制作メンバー



設置中の様子



現地設置メンバー

西九州新幹線開業日の前後を通して、様々な人の往来がある長崎駅前高架広場の快適さを保つ一助となる活動が施設管理者と協力して実施できたことは、新たな活動の仕方としていい事例になったのかなと思います。今回のような有志による地域部会活動の実施にあたっては、一定の条件を満たす場合に地域部会長で認定・活動支援できるような仕組みを考え、会員の皆さんの活動機会を少しずつ増やしていけたらと考えています。

(長崎地域部会長 馬渡)

## 「道守養成ユニットの会」2022年度理事会・総会報告

「道守養成ユニットの会」は、2022年度で結成から6年目を迎えました。2020年からはコロナ禍の中で活動に大きな制約を受けて、対面での総会の開催はできていませんが、創意工夫をしながら地域部会を中心とした道守活動を続けてきました。6月16日に理事会を開催し、会員の入退会状況、2021年度の行事報告、2021年度の会計報告、2022年度の行事計画、2022年度の予算、規約の改正等の原案を作成しました。



## 道守UNIT



- ②道守養成ユニットの会員が311人となり300人を超える。
- ③道守養成ユニットの会のホームページの管理規定承認、道守ポケットブック(仮称)の作成、建設現場見学会等の事業計画が承認。

通常総会終了後に、特別講演会として松田浩インフラ長寿命化センター長による「インフラ長寿命化センターのあゆみと将来～人材育成と光学的計測法の利活用～」が開催されました。

2年間にわたって開催できなかった通常総会及び特別講演会は8月1日の午前中に「インフラメンテナンス国民会議九州フォーラムピッチイベントinながさき」と同じ会場である長崎大学中部講堂において対面で63人の参加を得て開催されました。承認された新たな内容は以下のとおりです。

- ①規約を改正し、新たに9番目の地域部会として関西地域部会立ち上げ。地域部会長に河原氏が就任し、12人で活動が開始。



## ピッチイベントinながさき 8/1開催

産学官で構成されるインフラメンテナンス国民会議九州フォーラム(日野伸一氏リーダー)、長崎大学及び道守養成ユニットの会は8月1日に「第6回ピッチイベントinながさき～地方の道をいかに守っていくか～」を長崎大学中部講堂で開催しました。対面で約200人、オンラインで約100人が参加し、地方のインフラの維持管理の在り方について地域に根差した観点から産学官民の取り組みと今後の方向性を示す充実した議論がなされました。このピッチイベントは2020年開催の予定でしたが、延期を重ねてやっと…、今回、感染対策を取りながらの開催となりました。



基調講演では、インフラメンテナンス国民会議九州フォーラムの活動紹介、九州独自の取り組みであるテックシニアーズの設立と活動報告及び玉名市木下義明氏による「玉名市モデルの水平展開と人材育成」が報告されました。



パネルディスカッションは2部構成とし、「運営的なテーマ」と「技術的なテーマ」を設定しました。「インフラを地域でいかに守っていくか」という運営的なテーマは産学官民の連携が進んでいる長崎地区ならではのテーマで、市民団体、大学、行政の担当者が参加した街歩きや道路美化等を紹介し、



活動の継続と中間支援者の重要性、公助が主となっているインフラメンテナンスと共助が主となっている防災との連携の可能性、長崎市によるメンテナンスや防災に通報アプリを活用した自治会や建設業との連携等が紹介されました。

技術的テーマである「市町管理橋梁の維持管理の実態～課題の共有と解決に向けた第1歩～」については自治体のニーズの把握とそれに応えるシーズの提供だけでは新技術の活用が進まない現状を踏まえて、課題の掘り起こしと実態に合った解決法について議論がなされました。市町が抱えている課題、建設コンサルタントの技術者の課題に対して、具体的例を挙げながら、解決の方向性を提案した本来あるべき観点からの議論でした。

参加者アンケートによれば玉名市の取り組みと技術テーマについては参加者の関心と評価が高い企画となりました。一過性に終わらないで今後も継続して取り組んでいくことが大切と再認識されたイベントでありました。



お待たせしましたが、そのぶん練り上げた企画をお届けできました。

ありがとう



～医療従事者の皆さんへ感謝を込めて～



8月24日 上五島地域部会



8月26日 長崎地域部会



9月8日 下五島地域部会



9月15日 県央地域部会



9月21日 杵岐地域部会



10月13日 島原地域部会

長崎県内では7月頃から新型コロナウイルスの感染が急激に再拡大し、8月下旬には県内全体の病床使用率が60%を超え、長崎県は特別警戒警報に当たる感染段階レベル2-IIを発表していました。医療のひっ迫の度合いが高まったことを受けて、道守養成ユニットの会は多忙をきわめる医療従事者に感謝の気持ちを伝えたいと昨年に引き続き、今年も医療従事者への飲料水の贈呈を決めました。

地域部会ごとに最寄りの医師会へ贈呈を行い、医師会から「貴会をはじめ皆様からの温かいご支援のお気持ちが、現場スタッフにとって大きな励みとなっております。今後も地域医療を守り、継続させていくため、全力を尽くしてまいります。」と感謝のお礼状をいただいています。

医療体制を支える道路インフラを守る、縁の下の活動を目指す「インフラの町医者」にふさわしい活動となりました。

地域名	実施日	贈呈先
長崎	8月26日	長崎市医師会
県央	9月15日	諫早市医師会
島原	10月13日	島原市医師会 南高医師会
上五島	8月24日	上五島病院
下五島	9月8日	五島中央病院
杵岐	9月21日	長崎県杵岐病院

## 三者合同点検説明会と県の直営点検への参加



8/29, 8/30 説明会

コロナ禍の中でも感染症の状況を見極めながら、長崎県の橋梁直営点検である三者合同点検は継続されてきました。道守認定者はこの三者合同点検に県内各地で積極的に参加しており、下五島地域部会のように、地域部会の活動に位置付けている場合もあります。

三者合同点検開始前に開催してきた事前研修会については、講義室での座学やバスで移動する現場実習の開催が無理で、この2年間は年度当初に計画しながら最終的に開催できませんでした。

今年度は3年ぶりに8月29日と30日に長崎県庁

会議室で開催することができました。研修会では長崎大学工学研究科西川准教授が橋梁点検研修で「JICAのインフラ研修」の講義、同杉本准教授が道路防災・トンネル点検研修で「斜面や石垣のモニタリング」の講義を担当。研修会には道守認定者が22人参加しました。

橋梁点検は10月から振興局単位で順次開催され、道守認定者については長崎振興局管内で3人、県央振興局管内で5人、県北振興局管内で6人、五島振興局管内で10人、計24人が参加し、重点橋梁点検では7人が参加しました。

下五島での点検集合写真





## 3年ぶり開催！工業高校「インフラ長寿命化体験演習」

長崎大学で開催してきていた工業高校生を対象とした「インフラ長寿命化体験演習」は2年間にわたって、プログラムが確定した段階で8月のお盆明けのコロナ感染者急増のために、直前で開催を断念するという残念な状況になっていました。今年度は感染対策をしたうえで、8月31日に鋼構造物とコンクリート構造物点検演習を三菱パワー検査(株)、森政技術専門職員、道守認定者の担当で開催しました。参加者は大村工業高校と鹿町工業高校から3年生4人と引率の先生2人で、例年よりも少人数での演習でした。

各学校で9月～10月に開催された橋梁点検実習には道守認定者4人が講師を担当しました。例年、道守認定者の講師募集については希望者が多く、先輩の道守認定者から後輩に道を守っていく大切さとこの分野のやりがい伝える貴重な場となっています。



鋼構造物点検演習

大学での演習は勉強になりました！



## インフラ長寿命化センター から インフラ総合研究センター へ

10月1日から「インフラ長寿命化センター」は新しく「インフラ総合研究センター」(Research Center for Society Infrastructures, Nagasaki University (RCSI))に拡充改組され、新しいスタートを切りました。これまでのセンターは「研究開発部門」と「人材育成部門」の2部門制でしたが、研究開発部門の役割をはっきりさせて、工学研究科の組織として取り組む体制の整備で、「土木構造部門」、「防災減災部門」、「歴史的建造物・景観部門」及び「人材育成部門」の4本柱で構成されます。改組に当たっては、センター運営委員会を拡大して、関係する先生方で議論を進め、センター内規を改正して、センターと部門の目的と内容を決定しています。今後、インフラに関する各部門で産学官の連携のもとに教育研究の拠点として発展することが期待されます。10月にセンターの看板が新しくなりました。

### インフラ総合研究センター長

#### 運営委員会

#### 土木構造部門

・社会インフラ整備・維持管理  
・地方自治体技術支援

#### 防災減災部門

・自然災害に対する防災・減災  
・災害レジリエンス

#### 歴史的建造物・景観部門

・歴史的建造物や景観の活用  
・維持・保存

#### 人材育成部門

・「道守」事業  
・JICA事業  
・防災リーダー養成



5月13日 準備会

2022年はインフラ長寿命化センターの体制で運営し、2023年度から新しい体制で運営する計画で準備が続けられます。国土交通省長崎河川国道事務所と長崎大学の勉強会では新しい体制の予定メンバーが参加しています。

皆様、新しくなったセンターをどうぞよろしくお願いいたします。



※2022年11月～2023年3月までの活動報告は、次号「道しるべ」第40号(4月発行予定)へ続きます。  
発行が遅れたことをお詫び申し上げます。(事務局)

## 問合わせ先

長崎大学大学院工学研究科 インフラ総合研究センター 道守養成事務局

〒852-8521 長崎市文教町1番14号 TEL 095-819-2880 FAX 095-819-2879

Mail: [michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp)

●【インフラ総合研究センターHP】

<http://ilem.jp>



●【Facebook】

<https://www.facebook.com/ilem.nagasaki>



●【道守ユニットの会 HP】

<https://www.michimori-unit.org/>

発行 2023.3.28